

和學者ニ問ルベシ、後漢書辰韓傳云、諸小別邑各有渠帥、大者名臣智、次有儉側、次有樊祗、祗或作濊次有殺奚、次有邑借、皆其官名、三國史記、東國通鑑同之。

臣智 ナミチ 臣 ナミ 朝臣見 ナミチ 下文

儉側 ケンソク 縣主 ケンシユ

樊祗 ハンヂ 直 アキタメシ

殺奚 サイケ 佐伯 サイキ 日本紀景行五十一年、有諸國佐伯、可以爲一證。

邑借 ムラシ 連 ムラシ

朝臣 チヤウジ 釋云、帝王相親之詞也、言我身隨添之臣也。

幹按ニ、元臣智ヨリ來ル者訓ハ吾ニ隨ヒソフノ意ナレドモ、文字ハ朝ニ在テ、親ニ朝臣トイ

ヒ疎ニ臣ト云、

宿禰 シュクニ 釋云、昔稱皇子爲大兄、又稱近臣爲少兄、宿禰之義、取於少兄也。按ニ、隋書高麗傳云、其官有大々兄、次大兄、次少兄。

又釋云、或說帝王相親、云曾古爾禰與、

真人 マコト 辰韓所謂麻立干也、麻立干ハ新羅ノ王號ナルヲ以、本邦皇別ノ姓トス、

首 ウタテ 韓語ノヲト也 大人 私記云、於比止、

造 御奴

史 文人

村主及忌寸未考

〔北史九十四倭國、在百濟新羅東南水陸三千里、中至開皇二十年、倭王姓阿每、字多利思比孤、號

阿輩鷄彌、遣使詣闕、

〔異稱日本傳上〕今按、中倭王、姓阿每者、無稽之言也、蓋天訓阿每、我天神初主、號天御中主尊、異